

ごあいさつ

本校は、菟田野町・大宇陀町・榛原町・室生村が合併し、宇陀市が誕生した平成18年4月1日に、旧菟田野町の宇賀志小学校・宇太小学校・下芳野小学校の3小学校が統合され、新しく「菟田野小学校」として開校し、本年度で18年目を迎えます。

本校は、宇陀市の南部に位置し、校歌にもありますように新しく山林を切り拓いた「丘の上」にあります。敷地の北側には、副葬品として画文帯神獸鏡や鉄剣・勾玉などが出土した4世紀末から5世紀初頭のものとして推定される「古宮谷1号墳」が隣接し、東側には「学校林」もある県下でも珍しい教育環境をもつ学校です。「学校林」では、地域の方の御協力を得て、児童が間伐材の皮むきを体験するなど、森林環境教育にも取り組んでいます。校舎は、木とコンクリートとガラスを独自のデザインで組み合わせた美しいもので、平成27年度の10周年記念行事には、地域の多くの方々にも10周年を祝っていただきました。

現在、146名の児童が在籍し、「豊かな心を自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に、「地域の子どもは地域のみんで守り育てよう」という地域のご支援とともに、大学生などの外部ボランティアさんとの交流も進め、「つどうみんなが『うきうき』『たのしく』『のびのび』できる学校づくり」をめざして取り組んでいます。

